

小城市固定資産 評価委員に選任

地方税法の規定により選任するもの。



松本利恵氏



古賀久美子氏



武富繁幸氏



片岡俊幸氏

人権擁護委員に推薦

平成二十年六月三十日の任期満了に伴い再度推薦するもの。



中牟田秀徳氏

主な事業

市税等滞納整理事業 (インターネット公売)

(15万円)

市税徴収対策は、債権不動産などの差し押さえや臨戸徴収により行なっているが徴収率は伸び悩んでおりさらなる徴収対策として預金などの債権だけでなく車などの動産の差し押さえにより効果的な手法の導入が必要である。今年度より収納対策推進課を新設し、対策に取り組む。また、確実な換金につなげるためインターネット公売を導入し滞納処分を推進を図る。

防災行政無線を整備

(2億6,657万円)

災害時における緊急情報及び避難情報の市民などへの伝達手段の一つとして防災活動の実効的な効果を得るために整備するもので、本年度は、小城屋外局の更新、小城既設局の撤去・芦刈屋外局の新設と移設・管理費を計画している。

障害者就労支援事業

(470万円)

資源物回収所(ストックヤード)を設置し、障害者就労の場の確保を図る。現在の小城消防署北分署裏倉庫に加えて平成二十年度に新規で、牛津庁舎バス車庫に開所を計画。



▲牛津にも資源物回収所が設置

生活保護者へ就労支援

(186万円)

六十五歳未満の働きざかりの年齢層で働く能力を有する生活保護受給者に対して、公共職業安定所と連携して働く支援を行う。働く年齢層の生活保護受給者に対し、就労生活支援員による生活基盤の安定や働く意欲の呼びかけを実施し、社会参加を促す。

特定高齢者把握事業

(780万円)

生活機能が低下し、要支援、要介護状態になるおそれのある高齢者を早期に把握し、介護予防への効果的な取り組みにつなげる。

視覚障害者等情報 支援緊急基盤整備事業

(100万円)

視覚に障害のある方に対する情報提供手段として、情報支援機器やソフトウェアなどの整備をし、音声などによる意志伝達

手段を確保する。各庁舎と保健福祉センターの窓口八カ所に設置して利用機会の拡大を図る。

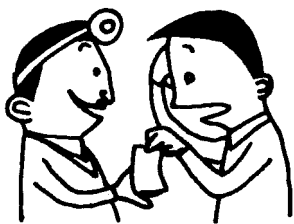
メタボ対策 特定健診・保健指導

(2,125万円)

四十歳～七十四歳までの国民健康保険被保険者に健康診査及び保健指導が義務化された。

(436万円)

四十歳以上で生活保護者などを対象とし、各保険センターで特定健診を実施する。問診、診察など詳細な検査を実施し内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病予防のための保健指導を必要とするものを抽出する。



「農地・水・環境保全 向上対策」営農支援

(193万円)

水質などの環境に配慮し(浅水代かきなど)、県の慣行基準より化学肥料及び化学合成農薬の5割以上削減した農産物の生産などの「環境にやさしい農業」に取組まれたところに交付される。

強い水産業づくり (カントリー方式)

(1億9,701万円)

ノリ共同委託加工工場(ノリの全自動による加工施設)の建設をすることで、陸上作業の労力が軽減し高品質乾ノリの生産をめざす。



▲ノリ共同加工工場建設予定地(芦刈町新村)

担い手に対する アドバイザーづくり

(218万円)

担い手(認定農業者と集落営農組織)に対するアドバイザー(担い手指導員)として市が農業の経営などに精通した方を雇用し、担い手の育成支援を推進する。

小京都「小城」ホテル ウォーク事業

(280万円)

5月下旬のホテルの飛び交う時期に小城町に点在する観光スポットを歩くことによって、小京都「小城」の魅力とホテルをPRする。

「湯ったり」ウォーク

(16万円)

今回はホテルウォーク5周年記念事業として、2日目に健康ウォーキングとして桜楽館(アイル)まで名所や健康クイズ、試食などを楽しみながら「湯ったり」健康ウォークとして開催する。

スマートインターチェンジ整備事業

(393万円)

スマートインターチェンジ設置に向け、地元説明、社会実験準備会及び協議会の設置、実施設計などの事業。

都市計画区域を再編

(350万円)

都市計画区域(素案)の作成、関係機関との事前協議、住民への説明、小城市都市計画審議会への説明、都市計画手続きのための図書作成などの事務事業。

中心市街地活性化 基本計画策定事業

(367万円)

都市機能が集積された「小城の顔」としての中心市街地の活性化を図ることを目的とし、市が作成した素案を元に、具体的なビジョンの設定、計画策定をする。

「牛津中学校」建設 始まる

(3億5,923万円)

老朽化した校舎を改築することで、生徒の学習環境の充実を図る。本年度は八月より仮設校舎建設、南棟解体、及び基礎工事を行ない完成は平成二十二年中の予定。



▲牛津中学校

小城市南部給食センター(仮称)建設事業

(3,196万円)

三日月町、牛津町、芦刈町の園児、児童生徒及び教職員へ給食を提供することで、市内の食に関する均衡を図る。本年度は基本設計・実施設計業務を行ない二十二年途中で完成予定である。

乳幼児医療費助成事業 (3歳以上就学前児童)

(2,058万円)

乳幼児の医療に要する医療費について助成することにより、その疾病の早期発見と治療を促進するもので、入院についても、一部負担額を助成する。

子どもの安全を確保

(27万円)

保育園、幼稚園に通う幼児の保護者に対し、声掛け事業などが発生した際に、携帯メールによる緊急情報システムを構築し情報を発信する。



▲砥川保育園

特別支援保育事業

(344万円)

保育園、幼稚園で発達障害のため、支援が必要な幼児に対し、補助保育

士の配置などの特別支援を行なうものである。

小城体育センター 屋根改修工事

(1,943万円)

小城体育センター屋根の老朽化により、雨もりが発生している。安全に施設を利用するために、改修工事を行うもの。

堀江地区農業集落 排水事業

(2億9,658万円)

旧三日月町内、十八七haを農業集落排水事業により整備。堀江浄化センター建設及び管渠整備を計画している。

市民病院に経営改善 アドバイザーを派遣

(1,200万円)

医療行政及び病院経営に精通した経営改善の専門家を病院内に置き、市民病院の抜本的な経営改善、改革を行うもので、実効性のあるプランを策定する。

教育委員会委員の増員

多様な地域住民の意向を教育行政に反映させるため教育委員会委員の定数が五名から六名に。増員分は保護者より選任される。

保健福祉センター が指定管理者制度 に移行

三日月保健福祉センター(ゆめりあ)がシンコースポーツ株式会社、牛津保健福祉センター(アイル)が株式会社リョーユースポーツプラザにそれぞれ決定。



▲ゆめりあ



▲アイル